

## | RUN |

### ガンを乗り越え、念願だったウルトラの自己ベストを更新！

今年8月に『いのちのスタートライン』(講談社)という本を出版しました。これは、'07年に、私が最終ステージの進行ガンを患い、生存率20%以下という厳しい状況下、6年後の'13年、サロマ湖100kmウルトラマラソンへの復帰に挑戦する手記です。健常者でも過酷なウルトラマラソンに、元ガン患者が完走を試みるわけですから、垂直にそびえ立つ岩山を、よじ登るようなチャレンジでした。

しかし、世の中には、偉大な先人達がいて、私は大いに勇気づけられます。精巣ガンの治療の後、ツール・ド・フランスで個人総合優勝した、ランス・アームストロング選手。悪

性リンパ腫を乗り越え、ノーヒットノーランを達成する、ポストン・レッドソックスのジョン・レスター投手。そして、肺ガン治療の後、トリノオリンピックのフィギュアスケート・ペアで7位入賞をする、井上怜奈選手。

彼らは、復帰どころか、ガン治療のあと、更なる高みに登って行った偉人たちでした。私はそんな彼らに憧れ、今年6月、再び、サロマ湖100kmウルトラマラソンを走り、9年越しの悲願、ガン発病前の自己ベストを3分縮め、12時間03分で完走することができました。

今は、フルマラソンでの記録更新を目指し、トレーニングを積んでいます。



ガンから100km復帰までを克明に記した渾身の一冊です。

大久保淳一  
非営利団体法人 5years.org 代表



'99~'14年ゴールドマント・サッカスに勤務。  
100kmマラソンを7回完走。フルマラソンの  
ベストは3時間25分。

## COLUMN



## | SHOES |



同コレクションのトップモデル  
「バジー ベース」はデザインも秀逸。

南井正弘  
ライター



リーボックのプロダクトマネージャーを経て、ライターに転身。シューズの専門知識を生かし、数々の雑誌で執筆。

### 軽くて速い！ いい意味でNBっぽくない一足が登場した

自分にとってニューバランスというブランドのイメージは「高い足の保護性能」に尽きます。安定性が高く、着地から蹴りだしまでの間しっかりと足を守ってくれる印象で、ゆっくり長い距離を走るときに履くことが多かった。ただ軽快感はあまり感じないので、ハーフマラソンなど速めのペースで走るときは別のブランドを選んでいました。

ところが今夏、これまでのブランドイメージを覆すコレクションが登場したのです!! フランス語で『走り抜けろ!』を意味する「バジー」です。このコレクションは、「より速く走りたい!」「もっとスピードを感じたい!」

というランナーに向けて反発性能に優れた素材をソールに使用しています。重量に関しては片足で約240gと、従来の同社のランニングシューズよりも大幅に軽量化。結果、自然と足が前に出てストライドも軽快になりました。最初はニューバランスっぽくない走行感に違和感を覚えたものの、無理なく5分/kmを切るペースで走れる機能性の高さはやっぱり魅力です。

ニューバランスのラスト(木型)と相性がよく、速いペースで走るランナーには最適です。トップモデルでも1万2千円を切るリーズナブルな価格設定も嬉しいですね。

## | SUPPLEMENT |

### 美味しく飲んで体調も整う。一石二鳥の「薬局バー」がNYで人気

従来のバーで、バーテンダーが言うのは、「何にします？」だが、ニューヨークの最新のバーでは、「どうしました？」である。なので、客の方も、「マンハッタンで」とかではなく、「のどがイガイガするの」などと答える。

バーといつても、ここは「薬局バー」のカウンター。マンハッタンのヒップなエリア、ロウワー・イースト・サイドにある「スタンリーズ ファーマシー」では、バーに立つのバーテンダーではなく、薬剤師である。

薬剤師であるスタンリーさんに、「今日はこういう症状を抱えていて、頭も痛くて……」などと伝えると、野菜ジュースにショットを

加えたスペシャルドリンクに、アドビル(米国のバファリン)を入れてくれる。

こちらでは薬の種類が豊富だし、認可システムが異なるので、薬によっては相当効く。いくら市販薬と言えど、バファリンのように半分が優しさではできないのだ。同じオトナでも、身体の大きい男性が飲むのと同じ量でいいはずがないし、薬の主成分や相性によっては「今度は胃が痛い」という事態にもなりかねない。使用上の注意をよく読み、用法・容量を守って正しく使いたいのはやまやまだが、素人には限界があるので、プロに任せるのがスマートなのだ。



一番の人気は「二日酔い解消」。  
[www.stanleyspharmacy.com/](http://www.stanleyspharmacy.com/)

山田恵比寿  
エディター



メンズ・ファッション  
&ライフスタイル誌の  
編集を経て、昨年より  
ニューヨーク在住。最  
近の好物は、流動食。